

いしのまきし 農業委員会だより

第22号

令和8年1月1日発行



水田の転作作物として栽培されたサツマイモが、大きく立派に育ち10月下旬に収穫時期を迎えました。

じっくりと熟成を経て、甘くて美味しい焼き芋が出来上がりました。



石巻市農業委員会 会長
高橋 千代恵

新年のあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より、農業者並びに関係各位の皆様には石巻市農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、地域農業の将来設計図となる「地域計画」が策定され、真に持続可能な農業・農村を創る取組みが始められました。

また、米価については生産資材の価格高騰が重くのしかかる中、それに見合った価格となり生産者にとっては喜ばしい限りですが、一方では消費者の米離れによる需給バランスの影響も懸念された一年であったように思います。

このような生産者の不安を払拭し、将来的にも持続可能で安定した農業経営ができるよう、今後とも国に対して要望してまいりたいと思います。

引き続き、農業委員・農地利用最適化推進委員一同、農業者の意向把握に努め、地域の世話役として活動してまいりますので、皆様方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして希望に満ちた佳き年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

農地パトロールを終えて

震災発生後に調査を実施した当初は、津波での浸水を免れた農地で野菜などの栽培が行われていましたが、年を追うごとに耕作放棄地が増えてきました。
その背景には、急激な人口減少と農業従事者の高齢化のダブルパンチが影響しており、厳しい現状に対し、少し淋しい想いがあります。
過疎の進行に伴う耕作放棄地の拡大によって、10年後、20年後に牡鹿半島部から農地がなくなってしまうのか、とても気がかりです。
調査を通して目の当たりにした、地域農業の課題に対し持続可能な農業政策が実現されるように切に望むところです。



荻浜・田代・牡鹿地区
推進委員 渥美 浩晃

7月から農地利用状況調査を実施しましたが、近年の猛暑で活動中にはかなりの体力を消耗しました。

あり、農地台帳との突き合せに慣れてきたところです。
調査した農地のうち、堤外や山麓等の条件の悪い農地は、荒廃が進んでいる箇所が散見されました。しかし一方では、良好に耕作されている田畑で二ホンジカやカラスによる農作物の被害によって深刻な影響を受けたとの話を多く聞きました。今後栽培を諦めてしまつと遊休農地になることが懸念されます。
農地の有効活用のために、具体的な対策支援が必要と感じました。暑い時期での農地調査となり、大変な思いで調査活動に従事しました。
遊休農地の現状を見た時は農地所有者に対して、具体的な解消方法を提案する必要性を考えさせられました。
また一生懸命農作業を行っている方々にお会いした時には農地利用最適化推進委員が果たす役割の重要性を改めて認識しました。

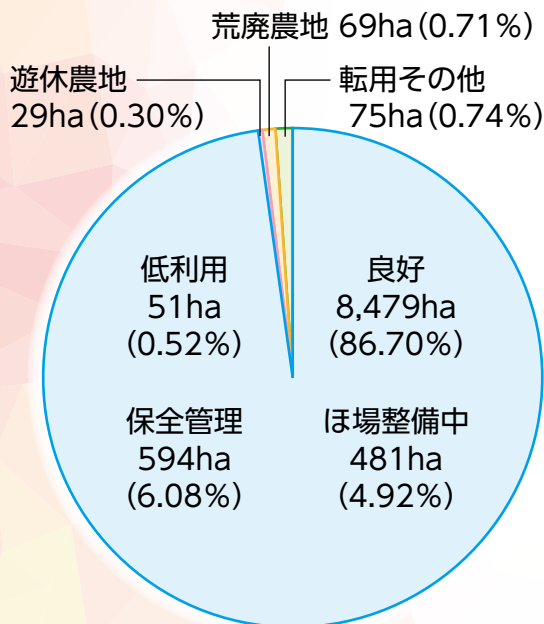


大谷地地区
推進委員 佐々木 繁

農地利用状況調査活動は今回で2回目となりました。農地の判断について畑地と山林の境界の区別が紛らわしい箇所が

令和7年度農地利用状況調査結果(速報値)

石巻市全農地9,780haに対し、【農地利用状況調査】を行いました。



遊休農地とは

ここ数年作付けされておらず、今後も耕作がされないと見込まれる農地、または周辺の農地に比べて利用状況が著しく劣る農地のことです。

農地利用意向調査について

農業委員会が農地の適正利用を促進するために行う調査であり、遊休農地と判断された農地の所有者に対して、今後の農地の利用意向を確認することを目的としています。

調査の実施について

調査の対象となった農地所有者の方には、12月から順次「調査用紙」をお届けしていますので、**令和8年1月31日**まで回答をお願いします。

STOP!! 農地の違反転用

農地を農地以外に利用する場合には、許可申請等を行う必要があります。手続きをしないで転用した場合には**農地法違反**となり、原状回復命令等がなされる場合があります。

さらに命令に従わない場合は、罰則の適用もあります。
農地の【盛土・切土】にも届出が必要です。



北村地区

ほんごう まさひろ
本郷雅浩さん

兼業農家に育った本郷さんは高校卒業後に民間企業勤務を経験してから、令和7年4月より本格的に就農しました。

きっかけは、お父さんが農作業に従事している中、年々耕作受託する農地が増えていく状況を見たことを機に、自分自身も専業農家として農業をやりたいという気持ちになったそうです。現在の経営面積は水稲15ヘクタールほどで、今後の展望をお伺いしたところ「地域の皆様から信頼され、本郷さんになら任せられる」と信頼を得られる様に農業に励んでいきたいと思えます。」と明るく答えてくれました。

地域農業に向き合う

その姿からは、とても誠実な人柄を感じられました。

(担当：近藤 茂)

(担当：遠藤 章一)

農業委員



おらほの活きいき農業女子!



和渕地区

わた なべ ま ゆ み
渡邊 真佑美さん
(米谷農園 勤務)



「鎌も持ったことがない私が農業に携わることになると思ってもみなかった。」と、微笑みながら話してくれた渡邊さんは、5年前に脱サラして就農したご主人のサポートをしながら「いつか自分も農業に携わるようになれば。」と考えていたとのことでした。

「天気は左右され、夏の時期はハウス内の厳しい暑さに耐えながら黙々と作業をする農家の皆さんは本当に凄いなと尊敬するばかりです。」と話す渡邊さんに農作業の魅力を伺うと、毎日が新鮮で覚えることが多くあり、地道に作業をコツコツと積み上げていく過程が好きで、出荷作業でグラムがピッタリ合った時には嬉しさや達成感があって、とてもやりがいがあるとのことでした。

渡邊さんからこぼれ落ちる笑顔、そして楽しそうに語る姿がとても好印象でした。

また、お料理も大好きで「3人の子どものために、できるだけ地元産の野菜を使っていきたい。」「子どもたちに農業の楽しさを教えてあげたいし、農業を継いでもらいたい。」と将来の夢も語ってくれました。

(担当 高橋由佳農業委員)

農親会視察研修



▲ スガノ農機株式会社にて



▲ 熱心にプレス工法を見学中



▲ 可愛いイチゴのオブジェ

令和7年7月30日から31日の2日間の日程で、農業委員・農地利用最適化推進委員23名が視察研修に参加しました。視察初日には、茨城県美浦村に本社を置くスガノ農機株式会社を訪ねました。

近年導入が増えてきている水稲の乾田直播（直播き）でよく使用される作業機の製造工場を見学しました。続いて同社が製造する作業機を使った土づくりの講習を受けました。

大正6年に北海道上富良野町で農機具製作所を開業し、日本の農業のあり方を見つめ続ける企業として現在に至っているという同社の沿革を伺っていた時に、創業者である菅野豊治氏が桃生郡中津山村（現石巻市桃生町神取地区）の出身者と知り、驚きを隠せませんでした。

石巻市にルーツを持つ菅野氏が国内トップクラスのプラウ専門メーカーを創業した事に誇らしさを感じます。

また、石巻市の農業がスガノ農機の製品づくりの一部になっていると考えるとなんだかワクワクしました。

同社農業機器の製造工程について興味深い説明があり、有意義な視察研修になったと思います。

2日目には栃木県小山市の観光農園、スローライフリゾートいちごの里でモモ狩り体験に参加して、旬を迎えたフレッシュな果実を味わいました。

（担当…高橋生一 農業委員）



稲刈り作業に精が出ます

令和7年10月5日に親子ふれあい稲刈り体験会が開催され、約50名の親子が参加しました。

6月に開催された田植え体験会で植えた苗が黄金色の稲穂に成長しており、子供も大人も笑顔で一束一束丁寧に刈り取りをしました。

稲刈りのほかに枝豆のもぎ取りや餅つき大会も開かれて、楽しい紙芝居もあり終始にぎやかな盛り上がりでの体験会になりました。

（担当…今野真理 農業委員）

〈第11回親子ふれあい稲刈り体験会〉



意見交換の様子（地区別懇談会）

令和7年8月21日に大崎市図書館で懇談会が開催され、石巻市からは女性農業委員が4名と女性就農者が1名、併せて5名が参加しました。


意見交換では、委員活動での悩み事について発言があったり、様々な課題に対して工夫している対応例を発表するなど、積極的な話し合いが行われました。

他の市町から参加した方から聞いた話には、参考になる委員活動の実例等が多くあり今後に生かしたいと思います。

（担当…今野真理 農業委員）

〈令和7年度 女性農業委員地区別懇談会〉

農業者年金受給者の声



**前谷地区
三浦 敬さん**

代々農業をなりわいとしている三浦敬さんは、ほぼ40年間に亘って農業者年金に加入して、年金受給に至っています。

その魅力をお尋ねしたところ「やはり一番は掛金全額が社会保険料控除の対象なので所得税と市県民税の節税につながる。」「また私は保険料の国庫補助の要件を満たしていて、非常に有利な制度を活用できました。」と、とても穏やかな笑顔で話してくださいました。

現在、家族と共に株式会社として農業経営体制の強化を図っていて、耕作の規模は水稻30ha、大豆15ha、大麦5haとなっています。

地域農業に真剣な三浦さんは、国民年金の上乗せ制度として最適な農業者年金を受給しながら、日々精力的に農業に勤しんでいます。
(担当：後藤嘉伸農業委員)

Q&A 農業者年金のよくある質問

Q 加入する場合、どこに申込みばいいですか？

A 加入の申込みは、最寄りの農業委員会かJAの農業者年金の担当窓口で受け付けています。申込みの際には、保険料の振替口座番号と国民年金の基礎年金番号が必要となります。

Q 死亡一時金がありますか？

A 80歳前に亡くなった場合は、80歳までに受け取れるはずだった農業者老齢年金額の死亡時の現在価値相当額をご遺族(死亡時に同一生計であった、配偶者、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹の順位)に死亡一時金としてお支払いします。

※死亡一時金は、加入期間等により保険料払込額を下回ることがあります。

Q 保険料の支払い方法は？

A 加入の申込み手続きが完了しますと、被保険者証がご自宅に届きます。届いた月以降、申込みの際に指定された口座から毎月23日(休日の場合は翌営業日)に自動振替となります。保険料のお支払いは、毎月納付する方法と、翌年1年分の保険料を前納する方法があります。前納する場合の申込みは11月15日まで、12月23日に口座振替されます。

Q 保険料の額を変更するには？

A 保険料の額を変更したい際には、JAの窓口で変更手続きをすれば、2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)から6万7千円の範囲で千円単位で希望する額に自由に変更できます。(ただし、保険料の国庫補助を受けているときは自由に変更できません。)

全国農業新聞は、農政の動きや・魅力的な農家の取り組みなどを伝える経営発展に役立つ新聞として、高い評価をいただいています。情報収集のツールとしてご購入をお勧めいたします。**購読の申込みは農業委員会までお気軽に連絡ください。**

令和8年4月1日より、購読料が改正されます。

購読料／新聞本紙＝税込月額900円（現行700円）

新聞本紙と電子新聞も閲覧可能。

電子新聞＝税込月額700円（現行500円）

電子版での購読を希望される場合は、URLよりお申し込みください。

<https://zenkokunogyoshinbun-denshi.jp/>



各種申請にあたってのご案内

申請にあたっては、必ず事前に農業委員会にご相談ください。
(☎62-4826)

令和8年1月から同年3月までの受付期間は下記のとおりです。



石巻市農業委員会総会等日程表

年月	項目	受付期間		専門委員会		総会
		開始日	締切日	農家相談	農地調査	
令和8年1月		6日(火)	9日(金)	19日(月)	20日(火)	28日(水)
2月		2日(月)	6日(金)	13日(金)	16日(月)	25日(水)
3月		2日(月)	6日(金)	13日(金)	16日(月)	26日(木)

石巻市農業委員会のホームページで詳しい案内をご覧ください。

(<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0020/d0050/index.html>)

申請書類の様式もございますので、どうぞご利用ください。

総会の様子



農業委員会の定例総会は、会長が招集する会議で毎月1回開催されます。

総会では、農地の権利移動や転用など農地法に基づく申請の内容や、農業振興地域整備計画に関する意見、その他の事項について審議を行います。

地域農業の将来に向けて、農地適正利用の推進、農業の担い手の確保等、農業委員会は、その重要な役割を果たしています。

編集後記

昨年は、梅雨の期間が極端に短く、猛暑酷暑の日々が続き農作物への影響が懸念された一年でした。

前年から続く令和の米騒動、農業協同組合提示による令和7年産米の生産者概算金の高騰と、農家にとってはうれしい反面、米離れが懸念されます。政府による米政策見直しにより持続可能な明るい農業への道筋を期待するものです。

さて、令和8年は農業を取り巻く環境が大きく変わる年としてありますが、農業委員会の活動も時代に合わせ皆様へわかりやすく情報発信し、地域農業の発展に一丸となり努めてまいります。

編集にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、農業委員会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

委員 高橋 善宏

編集委員

委員長 齋藤 忠直

副委員長 近藤 生一

今野 真理

高橋 善宏

高橋 由佳

遠藤 章一

武山 勝

高橋 千代恵

